

取組 4 5

芸術教育の推進

○ 現状

生活意識や価値観の多様化に伴い、暮らしの中に「心の豊かさ」を求める意識が高まっています。「心の豊かさ」を身に付けるには、子どもの時期から自らが芸術活動する場所と感受性や創造性など、感性を刺激するものに触れる機会が必要です。

各学校では、音楽、図画工作（小中学校）、美術、工芸（高校）、書道（高校）の授業や文化部活動（中高校）などを通して、児童生徒の芸術を愛好する心情や豊かな感性を育てる芸術教育を推進しています。

（学校の授業時間）

|      |                 |                  |
|------|-----------------|------------------|
| 小中学校 | 音楽、図画工作、美術      | 週1～2時間（各学年）      |
| 高校   | 音楽Ⅰ、美術Ⅰ、工芸Ⅰ、書道Ⅰ | 週2時間（主に1年生、選択必修） |

※ 一部の高校では、2・3年生で、音楽Ⅱ、美術Ⅱ、書道Ⅱ、工芸Ⅱ等を他教科との選択科目としています。

（文化部活動等）

・文化部活動

|              |       |       |
|--------------|-------|-------|
| 文化部活動<br>加入率 | 公立中学校 | 14.3% |
|              | 高校    | 26.9% |

※ 平成18年度部活動状況調査

※ 平成19年度群馬県高等学校文化連盟調査

・群馬県高等学校総合文化祭

高校生に文化部活動の成果発表の機会を提供するため、県高等学校文化連盟と連携し、本県高校教育の芸術・文化活動の総合的・象徴的なイベントである「県高等学校総合文化祭」を、平成7年度から毎年開催しています。

県内公私立高等学校及び特別支援学校高等部等の生徒による芸術・文化活動（演劇、合唱、吹奏楽、器楽・管弦楽、日本音楽、美術・工芸、書道、写真、放送等の19専門部等）に関する総合的・象徴的な祭典で、高校教育における芸術・文化活動の一層の活性化を図っています。



群馬県高等学校総合文化祭・閉会式の様子

（群馬交響楽団による音楽教室）

| 区分           | 平成19年度公演数（鑑賞した児童生徒数等） | 開始時期（年度） |
|--------------|-----------------------|----------|
| 移動音楽教室（小中学校） | 69公演（314校、45,644人）    | 昭和22     |
| 高校音楽教室       | 25公演（26校、16,722人）     | 昭和57     |

○ 課題

- ・授業時間数が少なく、授業の中だけで児童生徒一人ひとりの感性を刺激することが難しいこと
- ・生徒の主体的な芸術活動等の場である文化部活動の活性化を図ること

## ○ 取組の方向

- ・ 課外授業などにより、児童生徒一人ひとりの感性を刺激する機会を増やします。
- ・ 芸術の専門性を有する外部講師などを活用し、文化部活動等の質を高めます。
- ・ 文化部活動の成果を発表する場所や生徒同士が交流する場所を設け、児童生徒の芸術等活動の定着や文化部活動の活性化を図ります。

## ○ 主な事業の概要

| 事業の概要  | 担当部署                    |
|--|-------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>群馬県高等学校総合文化祭の開催</b><br/>文化部活動の活性化を図るとともに、本県の芸術・文化活動の一層の発展の基盤を作ります。</li> </ul>              | 高校教育課<br>特別支援教育室        |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>移動音楽教室、高校音楽教室</b><br/>群馬交響楽団による小中学生及び高校生を対象とした音楽教室を実施し、本物のクラシック音楽との出会いの場を提供します。</li> </ul> | 文化振興課<br>義務教育課<br>高校教育課 |

## ○ 達成目標

| 目標の概要  | 基準年度の状況<br>(H20) | 目標年度の状況<br>(H25) |
|--|------------------|------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 音楽や図画工作等が好きという児童生徒の割合</li> </ul>  | —                | 80%              |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 群馬県高等学校総合文化祭の各専門部の参加者数</li> </ul> | 3,224人           | 増加               |

## トピックス

### 第32回全国高等学校総合文化祭群馬大会（平成20年度ぐんま総文）

第32回全国高等学校総合文化祭（ぐんま総文）は、平成20年8月6日（水）から10日（日）の5日間、県内9市2町20会場で開催され、総合開会式やパレード、公式・協賛24部門に、全国や海外から3,114校、20,383人の高校生が参加して盛大に行われました。大会テーマ「上州に舞え創造の風」のもと、各会場ではレベルの高い演技や演奏等が披露され、高校生の若いエネルギーとみずみずしい感性に満ちあふれた作品や発表に、観客から感嘆の声や惜しめない拍手がおくられました。

また、本大会は企画から運営まで高校生が中心となって作り上げた「高校生主体の手作りの大会」として、県内の8,590人の高校生が大会運営を支えるなど、多くの高校生の力を結集することにより大成功をおさめました。



ぐんま総文・総合開会式の様子